

次々と社員を巻き込んで打ち 出される「会社施策」！！

その狙いは何か？！

最近また、「作業時の喚呼の変更」や「朝のKY時のタッチアンドコール」など矢継早に「会社施策」が打ち出されています。作業時の「喚呼」については「ウォータプライヤーが工具ロッカーに復活した時」のように、あらかじめ現場社員にアンケートをとるなど意見を求めることもなく、どこかで決められて一方的に「説明」されます。しかも、その実施についても「プロジェクトの社員」に「本日から適用になります」というように「宣言」させています。作業や、作業ダイヤに関する事柄は管理者の口から「説明」すべきです。プロジェクトの社員が自分の発意で作業に関することを決められる訳ではありません。「会社の方針に沿って、会社が承認した内容を、社員の意志であるかのように映し出している」だけです。

これは以前高橋所長が「現場長マネジメント」で発表したように「社員を説得して周囲の社員を巻き込んでやらせる」ということの一環です。

会社の言うことに疑問を持たない社員づくり！！

では、どのような方向に社員を巻き込むのでしょうか。それは「会社の言うことに一切疑問をもたない」という方向ではないでしょうか。極端な例を挙げると、現在各労働組合は会社とボーナス交渉を行っていますが、会社が「5期連続の過去最高益」を上げているけれども「我が社は国家的プロジェクトともいえるリニア建設という意義のある事業をやっているんだから、その建設費捻出のために労働組合の要求月額よりも会社回答額が低くても笑って受け入れよう」というような頭の構造になりかねません。

社員の皆さん！自分の頭で物事を考えましょう！！